

【執着ストーカー】 「バレたか」7年見守り続けた隣人の甘い侵食 ～狂った純愛と逃げられない術中～

サンプル（一部抜粋）

【インターホン】

「はい。」

（ドア開ける音）

「...珍しいですね。
こんな夜遅くにウチに来るなんて。」

「...この間、財布を拾ってもらったお礼に...？
わざわざ.....」

「...何見てるんですか？
人の家のアルバムを勝手に見るなんて、お行儀が悪いですね。」

「（くすっと笑う）あーあ。バレたか。
せっかく完璧な計画を立てていたのに。」

「何の計画...って、決まってるじゃないですか。
あなたを手に入れる計画ですよ。」

「あなたに恋をしたのは、もう7年も前ですよ。
ずっと見ていたんです。」

「でも気付いたんですよ。
見ていただけじゃ、手に入らないって。だからあなたの隣に引っ越して、偶然を装ってあなたとの接点を作った。」

（ぐちゅっと指を入れる音・舐める音）

「...はあ...中、ぐちょぐちょ...。
...ん？それだめ？
ココ.....ですか？」

（クスクスと楽しそうに笑う）

「弱点、みつけた。
ココね。」

「...はあ...、ずっと...この瞬間を待ち望んでいたんだ...」